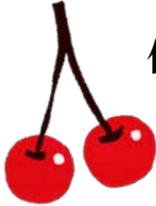


風力発電に

仁木町民有志は、

なぜ反対するのか！

第16弾

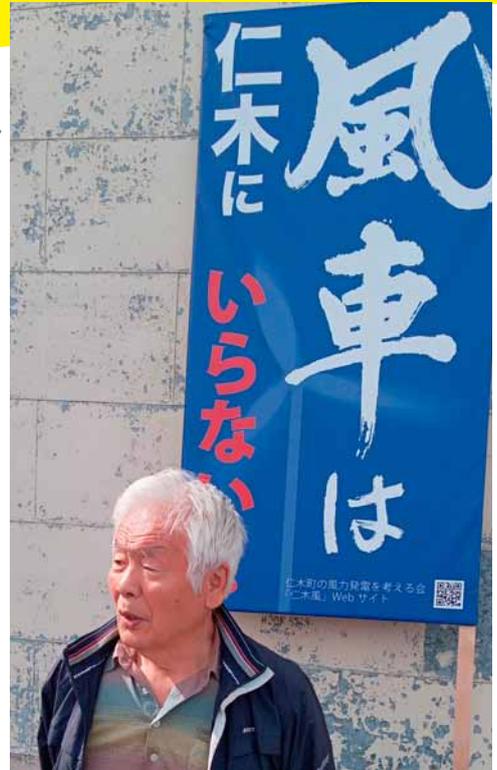


仁木町北町1丁目45

津司 康雄



2023年11月26日
発行の「風車 Vol.7」
を読んで



■ 林幸治副町長

「今般の風力発電に伴い、林道が整備されることになるが、このことは、自然破壊をすることより、自然環境の維持や防災の観点より、メリットがあるのではないか」と言われておりますが・・・。

● 津司康雄反論

そもそも、林道は、作業効率を考えて、山の中腹に等高線に沿って作るもので、現に、稲穂峠では、設置済みです。市川弁護士も講演で頂^{いただき}には作りませんと言っていました。

山の頂の『緑のダム』を破壊することで、災害や干ばつの引き金となる。

法人事業税は、都道府県に収める税です。

社会基盤が地域を支える可能性はありません。

■ 林幸治副町長

「バス・トラック等色々なものが低周波を発生させている」とおっしゃるが・・・。

● 津司康雄反論

確かに、発生しておりますが、低周波には、色々種類があり性格も異なります。

ポルトガル・ルソフォナ大学教授 マリア・アルヴェス・ペレイラさんは次のように研究発表されています。「私たちはさらに新しい方法（36分の1オクターブバンド）で測定している。すると、風力発電所周辺の住宅内では、20ヘルツ以下のところに何本も線があらわれた。この直線は風力発電から発生している超低周波音だ。そして風力発電の低周波音はパルス状（波打つ形）であり、ピークが非常に高いことがわかっている。



ポルトガル・ルソフォナ大学教授 マリア・アルヴェス・ペレイラ博士の講演より。超低周波音は住宅の壁をたやすく貫通し、「20Hzの超低周波音を防ぐためには17メートルの壁の厚さが必要である」という。

自然界の超低周波音、たとえば火山や海の音はパルス状のピークを持っていない。これは機械音から生まれるものだ。」

規模が比較の域を超えています。風力発電の羽根は直径180mもあり、羽根の先端から派生する超音波が悪さをするとされています。子供だましです。

■ 林幸治副町長

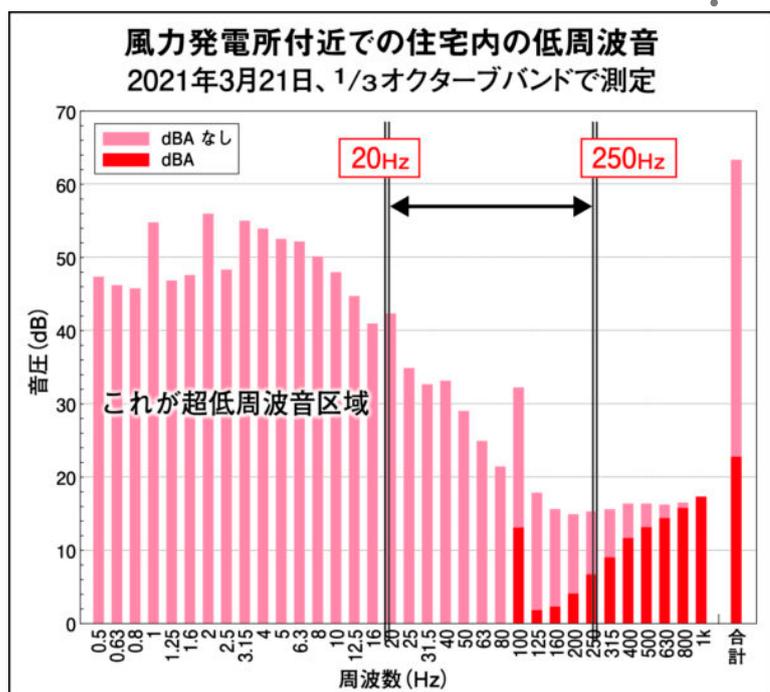
低周波は、谷間とかに留まり、人に影響をすると間違った情報を出した・・・。

● 津司康雄反論

スウェーデン、ゲーテボルグ大学のエジャ・ペダーソン博士らは、「地形や都市化の程度が異なる7か所で疫学調査を実施し、平地よりも山間地など地形が複雑な地域では風車音が気になると訴える率が有意に高くなった（オッズ比4.8倍）」と報告しており、とどまるところか、もっと過酷ではないですか。

■ 林幸治副町長

しつこく言い寄られたとか、近所の人に頼まれたので署名したが、反対でないというお話を少なからず、耳にする・・・。



日弁連主催シンポジウムでのペレイラ博士の講演より
(長周新聞より転載)

● 津司康雄反論

何時の世代でも、そのような人は、おりますが、大人が署名するという重さを知って署名した重さを感じ取ってください。

■ 林幸治副町長

配慮書の段階で、明確になっていないのに、憶測や推測で不確実な情報を発出し、・・・

● 津司康雄反論

林幸治副町長は、町内会会長会議でも、「まだ何も決まってない。決まったら説明会を開きます」と答弁しましたね。

風力発電に関しては、決まったらおしまいですよ。先日、赤井川村では日立が来て説明会を開きましたが、関西電力は声をかけても来ませんでした。

この度は、事業概要が関西電力から出された結果の反対運動です。

不確実な情報は出しておりません。

■ 林幸治副町長

CD云々は・・・

● 津司康雄反論

CD云々は、子供の喧嘩でしょう。大人の仁木町民の幸せの為の話をしてしましよう。

■ 林幸治副町長

学習の会は、極端な発言をされるゲストの方もいて・・・

● 津司康雄反論

極端な発信はしていません、全て事実の集積です。

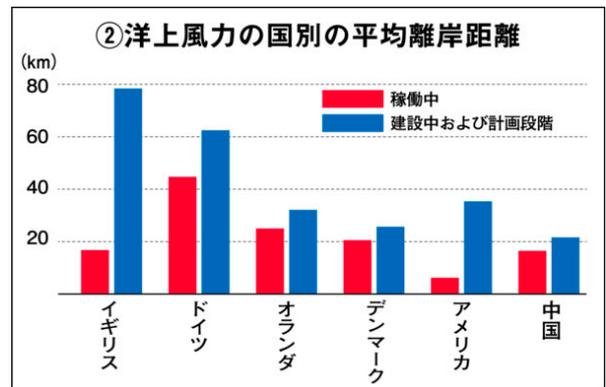
秋田県は、ハゲタカが獲物を襲う如く、大変な状況になっております。やがてそ

れが北海道に向かってきます。

林幸治副町長は、被害が出たら、札幌に帰れますが、仁木町民は、動くに動けないのです。

秋田県由利本荘市・にかほ市付近には、300基の風力発電があり、更に洋上風力発電が2km沖に12.6MWが65基も建ちます。

風力発電の先進地である欧州では、平均離岸距離は、35kmで60km離している国もあります。日本のやり方は、死者が出て不思議が無い所まで来ています。**国が、町が、守ってくれないのなら運動は継続します。**



長周新聞「風力先進国で行き詰まる再エネ事業 洋上風力は20m以上離すルールも 規制緩い日本に外資押し寄せる」より

我々は、反対の為の反対ではありません。

風力発電所が稼働すると大気中の二酸化炭素の排出量が火力発電所より大幅に増えることが判明したので、経済産業省資源エネルギー庁、資源・燃料部のロードマップを参考に、JAF・合成燃料・合成メタン等に移り換える運動もしています。

■ 林幸治副町長

追求型の反対集会的なイメージ・・・

● 津司康雄反論

私は、関西電力と直にお話を致しました。

嘘を平気で言う気持ちが納得できませんでした。

話のつじつまがコロコロ変わること。
約束をしても実行しないところ。
説明会は、条件の一つでないのか。
業者として感心できないレベルです。

■ 林幸治副町長

風力発電反対のボール・・・

● 津司康雄反論

風力反対のボール、林幸治副町長の考えが分かり、町民として悲しいです。

私は、商人の家に育ちました、損か得かと言う考え方が身についています。

今回の、風力発電は、町に固定資産税と言う麻薬を持ち込み、それを使う林幸治副町長は、メリットはありますが、**体調不良や災害で苦しむ町民はいかがしますか。**

林幸治副町長退職後、**風車の撤去の補償は万全ですか？** ペーパーカンパニーが破綻する可能性もありますね。そ

れらを総合的に保険をかけるつもりで、責任追及の文言を入れております。

■ 林幸治副町長

中山さんの・・・

● 津司康雄反論

熊の移動の道を林道にしてしまい、熊の隠れ場所、餌が無くなり、風力発電設置と熊の出没は妙に一致しているとか。

熊は、5000頭割り込み、保護し増えすぎたのも理由です。

常に、根拠に基づき信憑性ある内容で発信しています。**林幸治副町長こそ、もう少し勉強することをお勧めします。**

また、若松氏の言葉として、ドイツの例「**補償金が支払われるようになったら、健康被害を訴える住民がいなくなった。低周波の問題とはこのようなものである**」と述べていますが、**被害者に対し、これ以上の侮辱はありません。**

ドイツの対応勉強しましたか？ 国際問題になりますよ。お気をつけてください。

私共は、風力発電所の危険性についてパンフレットやチラシ等で詳細にお知らせしてまいりました、つきましては、災害時には、次のことを確認いたします。

災害時の請求権についての確認

自然災害・干ばつ・健康被害・農作物減収の補填・住宅、農地等の買い取り等関連被害について補償を下記のものに求めます。

日本国・北海道・関西電力・特別名目会社はもとより、**仁木町・導入時の仁木町町長・仁木町副町長・賛成した仁木町議会議長、仁木町議会議員とその相続人**に対し請求権を行使することを告知日 2023年10月26日付で追加告知いたします。

お願い：将来の被害に備えて多くの人に資料の保存収集をお勧め致します。